

内藤通信

令和5年 第4回定例会 一般質問

vol.8

皆様のお声を頂き、問題の改善を進めています。

Case 1

袋原ポンプ場前バス亭付近の歩道の修復をしてもらいました。



Case 2

柳生小学校前のスクールゾーンにて、止まれが消えている所を直しもらいながら、グリーンラインを引いてもらいました



Case 3

四郎丸小学校北門の所に街灯がなく、子供たちの通学にも危ないので、街灯を設置してもらいました。



大好きな
ふるさと
仙台のために



第40回全国都市緑化仙台フェアの感想について



昨年行われた第40回全国都市緑化仙台フェアについて、メイン会場と仙台城本丸跡を最短でつなぐ、臨時のシャトルバスの運行について求めました。

仙台市

フェア期間中の土日にフェアの会場近くから仙台城跡までのシャトルバスを運行し、およそ3万7000人の観光客の方にご利用いただきました。



GW期間や土日祝で臨時バスを通していただき大変評価を致します。

仙台市

周遊促進に加え、周辺の渋滞対策としても効果があったものと考えております。

仙台城跡石垣復旧までのシャトルバス運行について



仙台城跡の石垣が崩れ大手門跡からの登城ルートは、復旧に対し3年間はかかる予定となっております。



フェアが終了した今でも、復旧が完了するまでの期間中、観光客が多くお越し頂く時期にはシャトルバスを継続して運行してはいかがでしょうか？

仙台市

緑化仙台フェアの利用者の方からはスムーズに仙台城跡へ移動ができ、観光を楽しめたといった声が寄せられました。

仙台市

こうした実績を踏まえ、次年度以降の効果的な運行実施について検討してまいりますと存じます。

政宗公騎馬像の修復より感じた今後の対応策について



地震により破損が確認された政宗公の騎馬像が修復を終えお戻りになられたことは大変嬉しく感じました。



以前も仙台市内で修復できないか確認しましたが、当時仙台市内に修復できる方がいないとのことでした。



地元企業に確認したところ、仕事があるのであれば技術を習得することも可能だとのことでした。



技術を学ぼうとしてくれる民間企業もある事を踏まえ、新たな解決策を検討していくべきではないかと私は考えます。



そのような事を行うためにも、まずは彫刻等の現況調査を行うべきだと考えます。

仙台市

本市の公園には現在、彫像や記念碑などが約250基ございます。

仙台市

令和4年3月の地震による騎馬像の被害を受け、改めて公園の彫像などの目視点検を行ったところであり、彫像などの管理台帳の作成を進めているところでございます。

仙台市

今後、専門業者による詳細点検を実施し、その結果を踏まえ、維持管理の方策について検討してまいりたいと考えております。

青葉山公園本丸広場に行くまでの問題、維持管理について



現在本市の所有している青葉山公園本丸広場に入るためには宮城県護国神社の入口を通らないと入れない状況になっておりますが、階段や駐車場の道路もかなり老朽化をしております。



宮城県護国神社でも様々対応をしているところではございますが、この場所からしかいけない場所である以上、本市としても市民や観光客の安全・安心の確保の観点から考えていかなければならない問題だと認識します。

仙台市

青葉山公園、歴史、文化と豊かな自然環境を有する杜の都を代表する公園の一つであります。特に本丸広場は、仙台城跡のシンボルである政宗公騎馬像が置かれ、町並みを一望できる観光スポットとして重要な場所でございます。

仙台市

こうしたことから、安全に園内を散策できるよう環境を整えることは大切なことと認識をしております。



本市の青葉山公園の入り口にもなっている場所を本市がお借りし、維持管理を行うなどの協力は出来ないのかと考えます。

仙台市

広場までの安全な通路の確保につきましては、宮城県護国神社所有地の取り扱いの課題がございますが、ご提案の借地による入口の確保など、護国神社と十分協議を行いながら検討を進めてまいりたいと存じます。

仙台始まりの地としての懸造の復元に向けてについて



観光という観点で青葉山エリアは仙台始まりの地として、伊達家の懸造が復元されると政宗公の騎馬像と合わせ青葉山公園本丸広場に登って頂くきっかけにもなり、より良い影響を与えるのではないかと改めて認識をしたところです。



以前の定例会では復元は難しいとのことでしたが、復元的整備というものがございます。



どのようにすれば復元することが出来るのか、まだ調査をされていなければ、することを求めます。

仙台市

文化庁の復元および復元的整備の基準に照らした結果、資料が揃わないことに加え、本丸東側の崖の崩落により、遺跡の直上に再現するとの要件を満たせないため、調査は予定をせず、遺構としての表示を目指すこととしているところです。

仙台市

将来的に復元等に係る基準の変更が生じた場合には、改めてその基準に照らし懸造作りを含めた歴史的建造物の再現の可否を検討していくものというふうに加え、今後も国の動向を注視してまいりたいと存じます。